

地元グループによる被災地応援の取組みについて

1 はじめに

当管内で組織されている産学官連携組織「宮古・下閉伊地域モノづくりネットワーク林産部会」主催で行われた、被災地応援の取組みについて報告します。

2 経緯

上記林産部会は、地元の林業事業者や製材所、工務店等と、大学、行政で組織する連携体で、当室が事務局となって毎年活動しています。

今回は、仮設住宅等での男性向けイベントを熱望する声を受け、ここは自分達の得意分野である木工の出番！とばかりに、9月21日に宮古市グリーンピア仮設内、28日に山田町大沢と織笠仮設内で青空木工教室を開催しました。

その名も、「みんなで日曜大工の日」。

木工の他、子供向けに「スーパー竹とんぼ作り」、「森のクラフト作り」とメニューも盛りだくさんです。

3 イベントは大盛況！

木工材料は部会員から調達し、インストラクターとしてプロの大工2名を招聘。



山田町大沢ふるさとセンター：クラフト

やはり、さすがはプロ。私たち素人とは速さも出来栄も違います。電動工具等を駆使してあっという間に椅子を仕上げ、来場者からは作業依頼が続出です。

竹とんぼ作りは「国際竹とんぼ協会宮古・山田本部(!)」とのコラボ、クラフト作りは当室が担当です。特に山田町では、社協の復興推進支援員の協力もあって、午前、午後で2箇所に分散したにもかかわらず大盛況でした。



宮古市グリーンピア仮設住宅：木工

4 おわりに

民間の力を結集して地域へ還元する、という理念のもと組織されたモノづくりネットワーク。

今回の木工教室は、まさに彼らの得意な技術や人脈等を活かしながら、様々な人や組織と連携した取組みでした。

今後も、林業を軸にしながら地域の振興を目指す彼らの取組みを、支援していきたいと思います。



山田町織笠仮設住宅：竹とんぼ

